

質問

町のゴミ処理 今後の方針は

町長

次期処理施設決定まで現状で



おおがき てるこ 議員
大垣 照子



ゴミ問題 仁多クリーンセンターの現状

質問 雲南広域1市

2町で、次期一般廃棄物処理施設と最終処分場の建設計画は、随分長い時間を掛け議論してきたが、建設費等の高騰で実質頓挫した。町民の皆さんは、今後の不安を訴えている。これまでに掛った年数と経費、この間の議論や協議内容は、

町長 頓挫ではなく、

施設整備のコスト低減、既存施設の活用、民間委託を含め再検討する。本格的な検討は、令和2年から本年度で6年目。経費は令和2年度から5か年で、総額1億4000万円。本町の実支出額は、派遣職員の人件費も含め3600万円。こ

の間、建設候補地の選定を最優先し、新施設の運営費や収集運搬費の負担割合、中継施設の必要性等協議してきた。

再質問 令和2年度

からとの答弁だが、私も広域の議員を併任したことがあり、

認定こども園、移行根拠は

随分長い期間、議論を要したと認識している。

時間を掛け過ぎるとコストも掛かる。再検討との事だが3市町での協議は何年後か。

町長 本町は当面、既存の施設がありい

かに今の施設を長く使っていくか。もし、利用不可の場合、短期的には外部委託もやむを得ない可能性もある。次期処理方法が決まるまでは、何とか持ちこたえ、方針を早く決めたいと思っている。

質問 町内の幼兒園

が令和8年4月から横田地域において幼保連携型認定こども園に移行するが、これまで保育園と幼稚園を統合し幼児園化してきた。再移行とする根拠は。

保育から集団保育へと環境が変化するが、多様性や社会性、協調性の育成が促進されると期待している。幼保認定こども園は制度上、職員配置が手厚くなり、よりきめ細かな教育・保育の提供が可能となる。

町長 横田地域においては、園児数の減少が顕著であり、仁多福祉会から統合要請があり、移行することとした。少人数



来年から認定こども園に横田幼稚園で遊ぶ園児